



中心市街地活性化の基本方針

中心市街地を「暮らし・営み・集い・憩い」の場へ、留萌の「顔」として誇れるまちへ再生し、未来へ引き継ぐための基本方針を次のとおり定めました。

暮らしやすく、訪れやすいまちを創る

都市機能が集積されたまちなかに、誰もが安全便利に暮らせ、誰もが気軽に立ち寄ることができ、誰もが安心して歩ける環境の創出を目指します。

にぎわいの核、魅力ある商業が盛るまちを創る

個性的でこだわりのある店々が集まり、情報の発信や共同イベントなど、にぎわいの工夫にあふれて営み盛る環境の創出を目指します。

集い・憩い・交流のあるまちを創る

緑と広場が適度に配置され、誰もが集い、思い思いに憩い、文化交流やイベントを気軽に享受できる環境の創出を目指します。

ラストチャンス

— 留萌びとと中心市街地 —

かつて留萌には、「生活の場」「営みの場」「楽しみの場」「憩いの場」「交流の場」の拠点と言える、『まち』が存在していました。

そこは、様々な世代が行き交い、にぎわいを見せていました。そして今、その活気や喧騒といった『にぎわい』が遠のき、まちの存在感が失われつつあります。

これは、個々の生活レベルの向上や交通網の発達、無限に溢れる情報による嗜好の多様化など、様々な要因が考えられます。

また、人口の減少や高齢化、中心部からの大型店の撤退、郊外大型店の出

店、また自家用車の普及への対応の遅れなども原因と言えるでしょう。

◆ ◆ ◆

確かに、自家用車の普及と交通網の充実により、わたしたちの行動範囲は確実に広がって、札幌や旭川などの大都市へ気軽に行くことができるようになりました。

そこへ行けば何でも揃っていて、たくさんの人々が行き交うそこは、わたしたちにとって魅力的な場所と言えるでしょう。

では、留萌に『まち』中心市街地』は要らないのでしょうか？

わたしたちの答えは「否」、『まち』は要るのです。

なぜなら、この留萌でこれからも暮らし続ける人々や、わたしたちの子孫にとって留萌が単なる「寝起きするだけだけの場所」であって良いはずがないからです。

わたしたちには、ここに住む人々が誇りを持てるまちを再生し、未来に引き継ぐ使命があります。

「留萌市中心市街地活性化基本計画」は、「市民」「商業者」「経済界」そして「行政」の役割をしっかりと定め、まちの再生というひとつの目的に向かって、共に進んでいくために策定したものです。

中心市街地の必要性



特集

ラストチャンス

— 留萌びとと中心市街地 —

いつの頃からだろう、わたしたちの『まち』の存在感が薄れていったのは…。そこに行けばたくさん人がいて、そこへ行けばなんとなく楽しい。そんな留萌びとの「集いの場」「憩いの場」「交流の場」。そこは『るもいの顔』として、間違いなく存在していた…。わたしたちの暮らしに無くてはならない『まち』の存在。